

① 施工調査数量

調査範囲 ※図示 (1. 5. 2)

調査項目 ※ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。

調査方法 ・図示 ※目視及び打診 ()

調査報告書 ※ (1) 部を監督員に提出する。

補修方法 ・図示 (1. 5. 3)

② 樹脂注入工法 (4. 2. 2) (4. 3. 4)

材 料	製 造 所
※エポキシ樹脂 (・低粘度形 ・中粘度形)	JIS A6024の規格品
・数質形エポキシ樹脂	()

注入工法の種類
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
注入孔間隔 ※200～300mm間隔

エポキシ樹脂の注入量 ()

・手動式エポキシ樹脂注入工法
・機械式エポキシ樹脂注入工法

注入孔間隔

ひび割れ幅 (mm)	注入パイプの間隔 (mm)
0.3以下	50～100
0.3～0.5	100～200
0.5～1.0	150～200
1.0以上	

エポキシ樹脂の注入量 ()

コア抜き取り試験
・実施する ※実施しない
コア抜き取り個数 ひび割れ長さ ()
ひび割れ長さ 500mm毎及びその端数につき1個

コアの形状 径50mm 深さ70mm

抜き取り部の補修方法 ()

③ Uカットシール材充填工法 (4. 2. 2) (4. 3. 5)

材 料	種 別	備 考
①シーリング用材料 JIS A5785	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	・ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・行わない () 製造所 ()
・可とう性エポキシ樹脂	()	製造所 ()

④ シール工法 (4. 2. 2) (4. 3. 6)

材 料	製 造 所
・パテ状エポキシ樹脂	()
②可とう性エポキシ樹脂	()

⑤ 充填工法 (4. 2. 2) (4. 3. 7)

材 料	製 造 所
②エポキシ樹脂モルタル	()
・ポリマーセメントモルタル	()

④ 欠損部改修方法

⑤ 充填工法 (4. 2. 2) (4. 4. 8)

※欠損部の面積が1箇所当たり0.25㎡程度以下の場合

材 料	製 造 所
②エポキシ樹脂モルタル	()
・ポリマーセメントモルタル	()

・モルタル塗替え工法 (4. 2. 2) (4. 4. 9)

仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置

※図示 ()

⑥ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 (4. 4. 10) (図4. 4. 1)

挿入孔1箇所当たりの充填量 ※25ml ()

⑦ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 (4. 4. 11) (図4. 4. 2)

注入口1箇所当たりの注入量 ※25ml ()

・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 (4. 4. 12)

注入口1箇所当たりの注入量 ※50ml ()

	アンカーピン本数 (本/㎡)	注入口の箇所数 (箇所/㎡)	
	全面注入	部分注入	全面注入
一般部分	※13 ()	※16 ()	※12 ()
指定部分	※20 ()	※25 ()	※20 ()

指定部分とは、見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等をいう。
浮き面積が1㎡以下の場合は、標準グリッドを当てはめた最大本数程度とする。
狭幅部 (幅200以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所) には、幅中央に5本/㎡とする。

アンカーピン ※SUS304 呼び径4mm 全ネジ切り加工 (4. 2. 2)

・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 (4. 4. 13) (図4. 4. 3)

・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 (4. 4. 14) (図4. 4. 4)

・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 (4. 4. 15)

	注入口付アンカーピン本数 (本/㎡)	注入口の箇所数 (箇所/㎡)	
	全面注入	部分注入	全面注入
一般部分	※9 ()	※9 ()	※9 ()
指定部分	※16 ()	※16 ()	※16 ()

指定部分とは、見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等をいう。
浮き面積が1㎡以下の場合は、標準グリッドを当てはめた最大本数程度とする。
狭幅部 (幅200以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所) には、幅中央に5本/㎡とする。

注入口付アンカーピン ※SUS304 呼び径6mm (4. 2. 2)

材 料	注入量 (ml/箇所)	製造所
・固定用エポキシ樹脂 高粘度形	・25 ()	JIS A6024の規格品
・注入用エポキシ樹脂	・25 ()	JIS A6024の規格品
・ポリマーセメント スラリー	・50 ()	

・浮き部分撤去モルタル塗替え工法
厚さ ※10 ()

※検査
テストハンマーによる打診により確認を行い、その結果を監督員に提出し、承諾を受ける。

④ 欠損部改修方法

⑤ 浮き部改修方法

⑥ Uカットシール材充填工法 (4. 2. 2) (4. 5. 6)

材 料	種 別	備 考
・シーリング用材料 JIS A5785	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	・ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・行わない () 製造所 ()
・可とう性エポキシ樹脂	()	製造所 ()

⑦ タイル部分張替え工法 (4. 5. 7)

材 料	製 造 所
※ポリマーセメントモルタル	()
・変形シリコン樹脂	・エポキシ樹脂 ()
・ポリウレタン樹脂	・シリコン樹脂 ()

⑧ タイル張替え工法 (4. 5. 8)

伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置 (表4. 5. 1)

形式	外部側に柱形のない場合	外部側に柱形のある場合
方向	柱の両側又は開口端部上下及び 中間3～4m程度	柱形の両端及び3～4m 程度
垂直方向		
水平方向	各階ごと打替ぎ目地の位置	

伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の寸法 (4. 5. 8)

コンクリートの打替ぎ目地及びひび割れ 誘発目地	幅20mm以上、深さ10mm以上
上記以外の箇所の目地	幅10mm以上、深さ10mm以上

目地等の形状は、凹凸、広狭等のないものとする。

⑨ タイル張り工法と張付け材料の塗厚 (表4. 5. 3)

タイルの種類	タイルの大きさ	工 法	種類	塗厚 (mm)	備考
外装タイル	小口タイル 二丁掛けタイル以下	密着張り 改良積上げ張り 改良圧着張り	モルタル	5～8	1枚ずつ張り 付ける
				4～7	
				下地側4～6	
				タイル側3～4	
ユニットタイル	25mm角を超え 小口未満	マスク張り	モルタル	3～4	ユニットごと に張り付ける
				3～5	

⑩ タイルの種類 (4. 2. 2) (4. 5. 7) (4. 5. 8)

施工箇所	形状・寸法	きじの質	うたぐすり	役物	色	見本	備考					
		磁器	せつ鋼	陶器	陶器	施す	有	無	標準	特注	焼き	

役物 標準的な曲がり (小口、標準、二丁、厚風) の役物は一体成形とする。
タイルの見本焼き ※行わない ・行う
タイルの試験張り ※行わない ・行う

・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 (4. 4. 10) (図4. 4. 1)

挿入孔1箇所当たりの充填量 ※25ml ()

・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 (4. 4. 11) (図4. 4. 2)

注入口1箇所当たりの注入量 ※25ml ()

・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 (4. 4. 12)

注入口1箇所当たりの注入量 ※50ml ()

	アンカーピン本数 (本/㎡)	注入口の箇所数 (箇所/㎡)	
	全面注入	部分注入	全面注入
一般部分	※13 ()	※16 ()	※12 ()
指定部分	※20 ()	※25 ()	※20 ()

指定部分とは、見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等をいう。
浮き面積が1㎡以下の場合は、標準グリッドを当てはめた最大本数程度とする。
狭幅部 (幅200以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所) には、幅中央に5本/㎡とする。

⑪ アンカーピン ※SUS304 呼び径4mm 全ネジ切り加工 (4. 2. 2)

・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 (4. 4. 13) (図4. 4. 3)

・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 (4. 4. 14) (図4. 4. 4)

・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 (4. 4. 15)

	注入口付アンカーピン本数 (本/㎡)	注入口の箇所数 (箇所/㎡)	
	全面注入	部分注入	全面注入
一般部分	※9 ()	※9 ()	※9 ()
指定部分	※16 ()	※16 ()	※16 ()

指定部分とは、見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等をいう。
浮き面積が1㎡以下の場合は、標準グリッドを当てはめた最大本数程度とする。
狭幅部 (幅200以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所) には、幅中央に5本/㎡とする。

・注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法 (4. 5. 15)

注入口付アンカーピン本数
・図示 () 本/㎡、指定部分 () 本/㎡
指定部分とは、見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等をいう。

注入口付アンカーピン ※SUS304 呼び径6mm

⑫ 備考

・改訂 H25年度版 H250219 平成26年1月作成

承認覧

6. 目地改修工法

※検査
テストハンマーによる打診により確認を行い、その結果を監督員に提出し、承諾を受ける。

・目地ひび割れ部改修工法 (4. 1. 4) (4. 5. 16)

既製調合モルタル (目地材料) 製造所 ()

・伸縮目地改修工法 (4. 1. 4) (4. 5. 16)

シーリング用材料 種類 ※改修標準 (表3. 7. 1) による。

4
(4)
外壁改修工事

① 施工調査数量

調査範囲 ※図示 (1. 5. 2)

調査項目 ※仕上げ塗材等の劣化部分、剥落部分等を壁面に表示する。
※既存塗膜と新規塗材との適合性を確認する。

調査方法 ・図示 ※目視及び打診 ()

調査報告書 ※ (1) 部を監督員に提出する。

補修方法 ・図示 (1. 5. 3)

② 既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 (4. 6. 3) (表4. 6. 2～4. 6. 5)

工 法	処理範囲	下地面の補修
※サンダー工法 (10MPa程度以上)	※既存仕上げ面全体・図面図示	②ひび割れ部改修工法
※高圧水洗工法 (30MPa程度以上)	※既存仕上げ面全体・図面図示	②浮き部改修工法
・塗膜剥離剤工法	※既存仕上げ面全体・図面図示	②欠損部改修工法
・水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存面全面 ()	

塗膜剥離剤 製造所 ()

下地調整材
・防水形仕上塗材主材を使用
・ポリマーセメントモルタル 製造所 ()

※下地調整塗材

③ 仕上塗材仕上げ

種類	呼び名	仕上げる形状	工 法	備考
④ 薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si	・砂壁状	・吹付け	上塗材 ・外装厚塗材 C ※適用 ・外装厚塗材 C ・凸部処理 ・平たん状 ・ひき起こし ・かき落とし ・凹凸状 ・内装厚塗材 E
	・可とう形外装薄塗材Si	・ゆず肌状	②ローラー	
	②外装薄塗材E	・さざ波状	・こて塗り	
	・可とう形外装薄塗材E	②平たん状		
・厚付け仕上塗材	②防水形外装薄塗材E	②凹凸状		・外装厚塗材 Si ・適用 ・適用しない
	・外装薄塗材S	・着色骨材砂壁状		
	・外装厚塗材C	・吹放し	・吹付け	
	・外装厚塗材Si	・凸部処理	・ローラー	
・複層仕上塗材	・外装厚塗材E	・平たん状	・こて塗り	RSの場合は 溶剤系ポリウレタンつやあり 耐水性 ※3種 防水形の増塗材 ※行う 溶剤系ポリウレタンつやあり
	・内装厚塗材C	・ひき起こし		
	・内装厚塗材L	・かき落とし		
	・内装厚塗材G	・凹凸状		
・可とう形改修用	・内装厚塗材Si			・溶剤系 ()
	・内装厚塗材E			
	・復層塗材CE	・凸部処理	・吹付け	
	・可とう形復層塗材CE	・凹凸模様	・ローラー	
・可とう形改修用	・復層塗材Si	・ゆず肌状		※水系アクリルつやあり ・水系ポリウレタンつやあり () R Sの場合は 溶剤系ポリウレタンつやあり 耐水性 ※3種 防水形の増塗材 ※行う 溶剤系ポリウレタンつやあり
	・復層塗材E			
	・復層塗材RE			
	・復層塗材RS			
・可とう形改修用	・防水形復層塗材CE			※水系アクリルつやあり ()
	・防水形復層塗材E			
	・防水形復層塗材RS			
	・防水形復層塗材RE			
・可とう形改修用	・平たん状	・吹付け	上塗材	・溶剤系 ()
	・さざ波状	・ローラー	・こて塗り	
	・ゆず肌状			

※ホルムアルデヒドの放散数 F☆☆☆☆等級のもの ()

防火材料の指定 ※壁内の壁及び天井の仕上げ材は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けた防火材料とする。

その他の材料
セメント系下地調整材 JIS A6916規格品
ポリマーセメントモルタル ※監督員の承認する製造所
・製造所 ()
剥離剤 ・製造所 ()

工事名称
延永小学校北棟外壁改修工事

図面名称
改修工事特記仕様書 (2)

行橋市役所都市整備部
建築政策課
福岡県行橋市中央一丁目1番1号
TEL:0930-25-1111

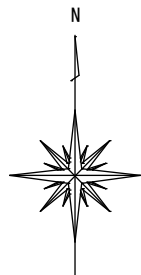
尺度

日付

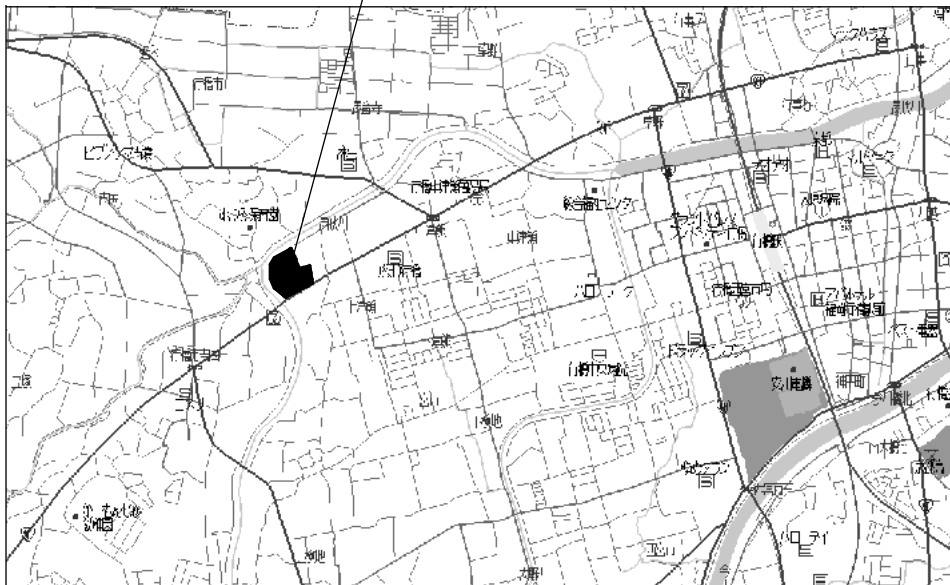
図面番号
A-02

[illegible]

工 事 概 要													
工 事 名 称		延永小学校北棟外壁改修工事		階 別 床 面 積		備 考							
工 事 場 所		福岡県行橋市大字上津熊125番		階	面 積	高圧洗浄		既存仕上材除去は30MPa以上とする。					
敷 地 面 積		11,324.71 m ²				下地調整		セメント系下地調整塗材（C-1）カチオン系とする。 ※下地調整前に水洗いを行うこと。（高圧洗浄10～15MPa）					
用 途 地 域		指定無し				鋼製建具面下地調整		R B 種					
防 火 地 域		指定無し				鋼製建具面錆止め塗料塗り		C 種					
施 設 用 途		小学校				ボード面下地調整		R B 種					
今 回 工 事 種 別		外壁改修工事			m ²								
今 回 工 事 部 分		北棟外壁			m ²								
今回工事対象床面積		* * * m ²		合計	m ²								
外 部 仕 上 表						外 壁 改 修 （工法及び数量）							合 計
壁	改修前	モルタル刷毛引きの上、アクリルシン吹付				劣化	改修部大きさ	工 法		仕 様 材 料		数 量	
	改修後	高圧洗浄後下地調整の上、防水形外装薄塗材 E				ひび割れ	0.2mm未満	シール工法		可とう性エポキシ樹脂		m	
柱 型	改修前	モルタル刷毛引きの上、アクリルシン吹付				ひび割れ	0.2mm以上	Uカットシール材充填工法		可とう性エポキシ樹脂		m	
梁 型	改修後	高圧洗浄後下地調整の上、防水形外装薄塗材 E					モルタル浮き	0.25m2未満	アンカービッドニング部分注入工法	一般部	アンカービッド 16本／m2		
軒 先	改修前	コンクリート打放しの上、防水モルタル金ゴテ仕上				アンカービッドニング部分注入工法			指定部	アンカービッド 25本／m2			
	改修後	高圧洗浄後下地調整の上、防水形外装薄塗材 E				アンカービッドニング部分注入工法			狭幅部	アンカービッド @200			
軒 裏	改修前	コンクリート打放しの上、アクリルシン吹付				0.25m2以上		アンカービッドニング全面注入工法	一般部	アンカービッド 13本／m2	注入口 12本／m2		
	改修後	高圧洗浄後下地調整の上、外装薄塗材 E						アンカービッドニング全面注入工法	指定部	アンカービッド 20本／m2	注入口 20本／m2		
窓面台	改修前	防水モルタル金ゴテ仕上							アンカービッドニング全面注入工法	狭幅部	アンカービッド @200	注入口 @200	
	改修後	高圧洗浄後下地調整の上、防水形外装薄塗材 E											
縦 樋	改修前	VP φ100 撤去				欠 損		100 × 100以下	エポキシ樹脂モルタル充填工法	一般部			カ所
	改修後	VP φ100 新設 受け金物：SUS製							エポキシ樹脂モルタル充填工法	指定部			カ所
	改修前							200 × 200以下	エポキシ樹脂モルタル充填工法	一般部			カ所
	改修後						エポキシ樹脂モルタル充填工法		指定部			カ所	
	改修前						300 × 300以下	エポキシ樹脂モルタル充填工法	一般部			カ所	
	改修後							エポキシ樹脂モルタル充填工法	指定部			カ所	
	改修前						400 × 400以下	エポキシ樹脂モルタル充填工法	一般部			カ所	
	改修後							エポキシ樹脂モルタル充填工法	指定部			カ所	
	改修前						500 × 500以下	エポキシ樹脂モルタル充填工法	一般部			カ所	
	改修後							エポキシ樹脂モルタル充填工法	指定部			カ所	
特 記						作 図	作 図	工 事 名 称 ・ 図 面 名 称			縮 尺	図 面 番 号	
								延永小学校北棟外壁改修工事			――	A O 4	
								仕上表					
								行橋市役所 都市整備部 福岡県行橋市中央一丁目1番1号 TEL：0930-25-1111 *****					



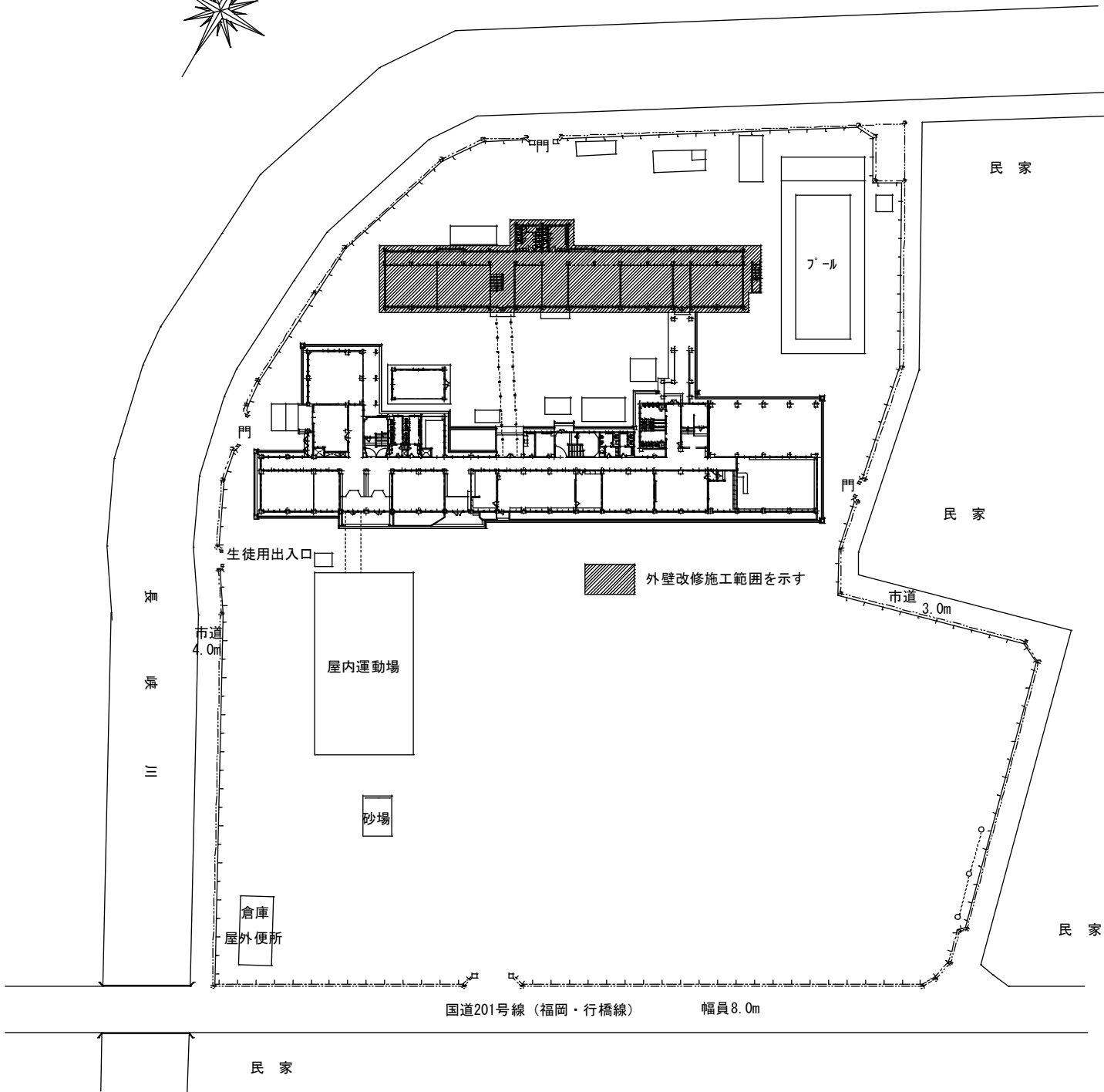
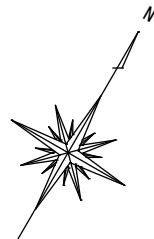
工事場所：行橋市大字上津熊125番



付近見取図

特記事項

- ※工事期間中、生徒、職員の安全に努めること。
- ※仮設物、仮囲い等の設置場所については、施設関係者、監督員と協議して決定すること。
- ※敷地内の車両の通行に際しては、最徐行とし歩行者の安全に努めること。
- ※足場の最下段は金網式養生枠とする。
- ※足場の進入口は鍵付とし、工事関係者以外の立ち入り禁止措置を行うこと。
- ※工事完了後は、仮囲い内の整地を行うこと。

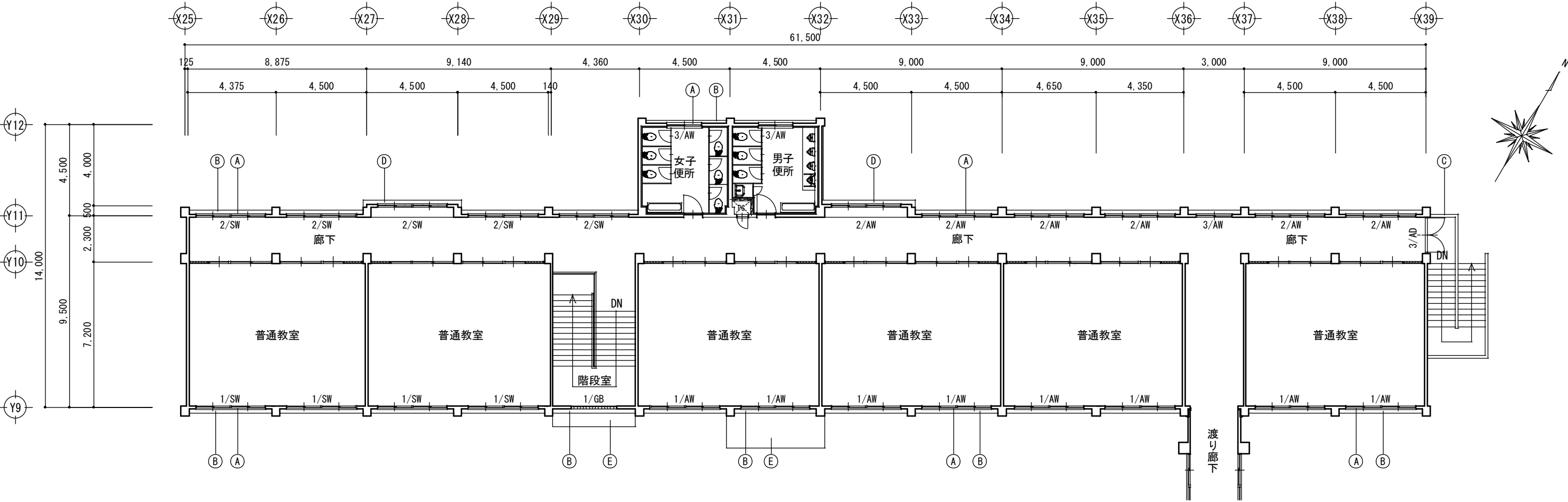


配置図

特 記	作 図	作 図	工事名称・図面名称	縮 尺	図面番号
			延永小学校北棟外壁改修工事	A3版：1/1000	A05
			附近見取図・配置図		

行橋市役所 都市整備部
建築政策課
福岡県行橋市中央一丁目1番1号
TEL：0930-25-1111

外 部 仕 上 表					
記号	仕 上		記号	仕 上	
A	改修前	面台：防水モルタル金ゴテ仕上		改修前	
	改修後	高圧洗浄後下地調整の上、防水形外装薄塗材E		改修後	
B	改修前	梁型：モルタル刷毛引きの上、アクリルリシン吹付		改修前	
	改修後	高圧洗浄後下地調整の上、防水形外装薄塗材E		改修後	
C	改修前	手摺天端：防水モルタル金ゴテ仕上		改修前	
	改修後	高圧洗浄後下地調整の上、防水形外装薄塗材E		改修後	
D	改修前	小庇：防水モルタル金ゴテ仕上		改修前	
	改修後	高圧洗浄後下地調整の上、防水形外装薄塗材E		改修後	
E	改修前	モルタル下地の上、塗膜防水（X-2）		改修前	
	改修後	既存のまま		改修後	
	改修前			改修前	
	改修後			改修後	
	改修前			改修前	
	改修後			改修後	
	改修前			改修前	
	改修後			改修後	

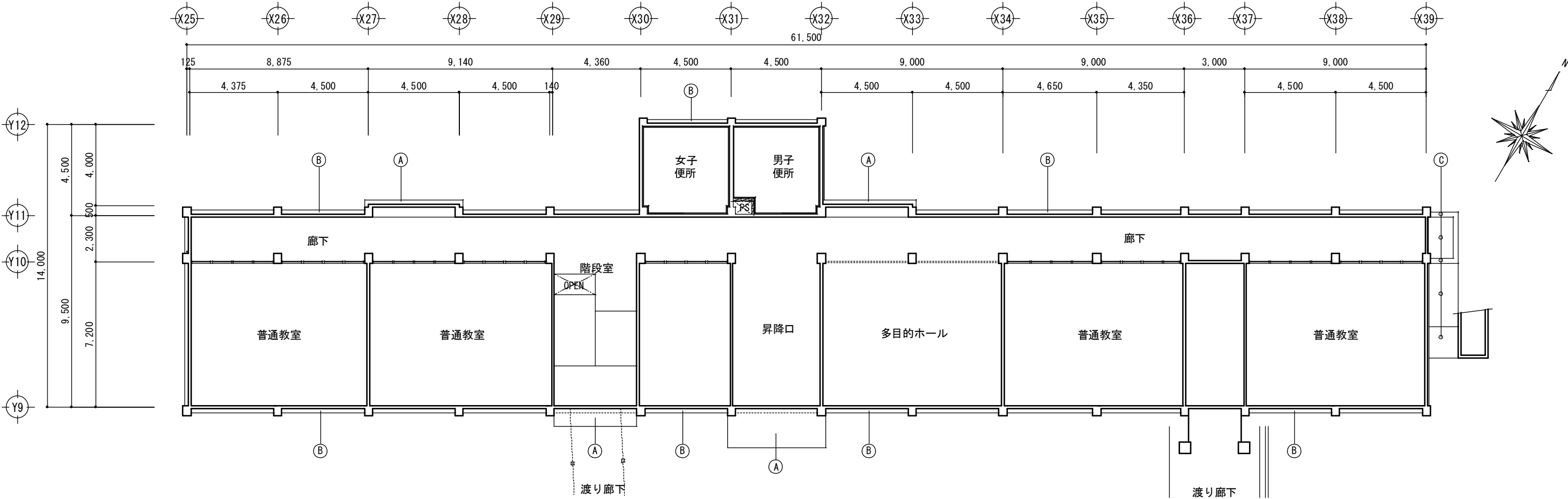


2階平面図

特 記	作 図	作 図	工 事 名 称 ・ 図 面 名 称	縮 尺	図 面 番 号
			延永小学校北棟外壁改修工事	A3版：1/200	A07
			2 階 平 面 図		

行橋市役所 都市整備部 建築政策課
福岡県行橋市中央一丁目1番1号
TEL：0930-25-1111

外 部 仕 上 表					
記号	仕 上		記号	仕 上	
A	改修前	小庇軒裏：コンクリート打放しの上、ｱｸﾘﾙｼﾝ吹付		改修前	
	改修後	高圧洗浄後下地調整の上、外装薄塗材 E		改修後	
B	改修前	梁型：モルタル刷毛引きの上、ｱｸﾘﾙｼﾝ吹付		改修前	
	改修後	高圧洗浄後下地調整の上、防水形外装薄塗材 E		改修後	
C	改修前	手摺上げ裏：コンクリート打放しの上、ｱｸﾘﾙｼﾝ吹付		改修前	
	改修後	高圧洗浄後下地調整の上、外装薄塗材 E		改修後	
D	改修前			改修前	
	改修後			改修後	
E	改修前			改修前	
	改修後			改修後	
	改修前			改修前	
	改修後			改修後	
	改修前			改修前	
	改修後			改修後	
	改修前			改修前	
	改修後			改修後	

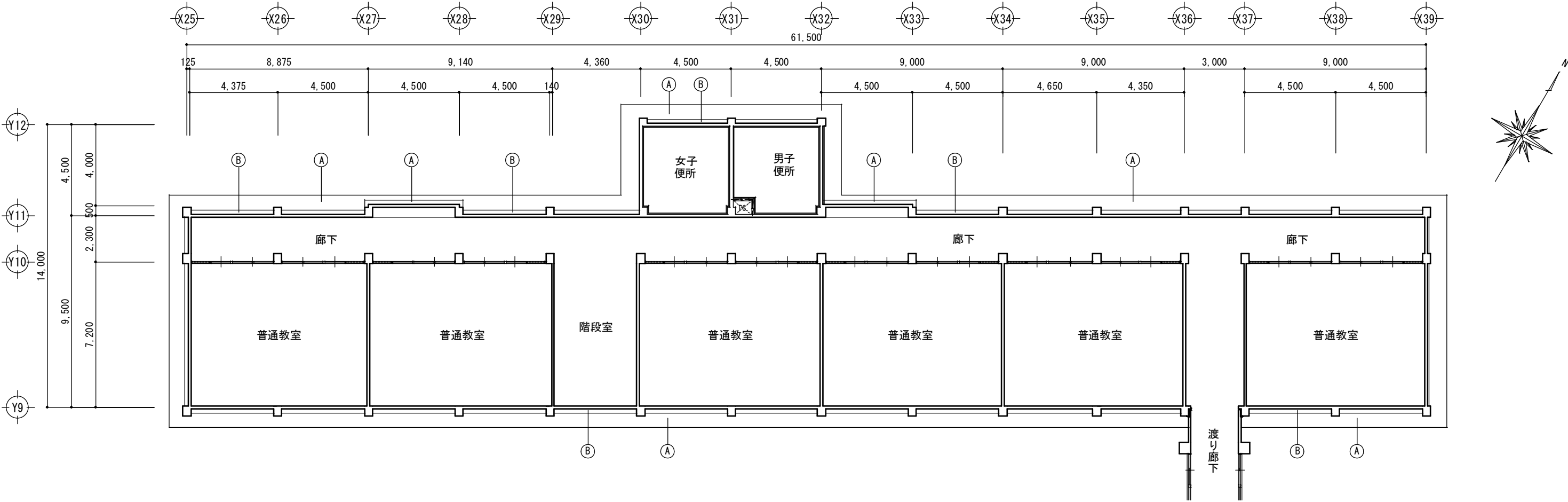


1階平面図

特 記	作 図	作 図	工 事 名 称 ・ 図 面 名 称	縮 尺	図 面 番 号
			延永小学校北棟外壁改修工事	A3版：1/200	A08
			1 階天井伏図		

行橋市役所 都市整備部 建築政策課
福岡県行橋市中央一丁目1番1号
TEL：0930-25-1111

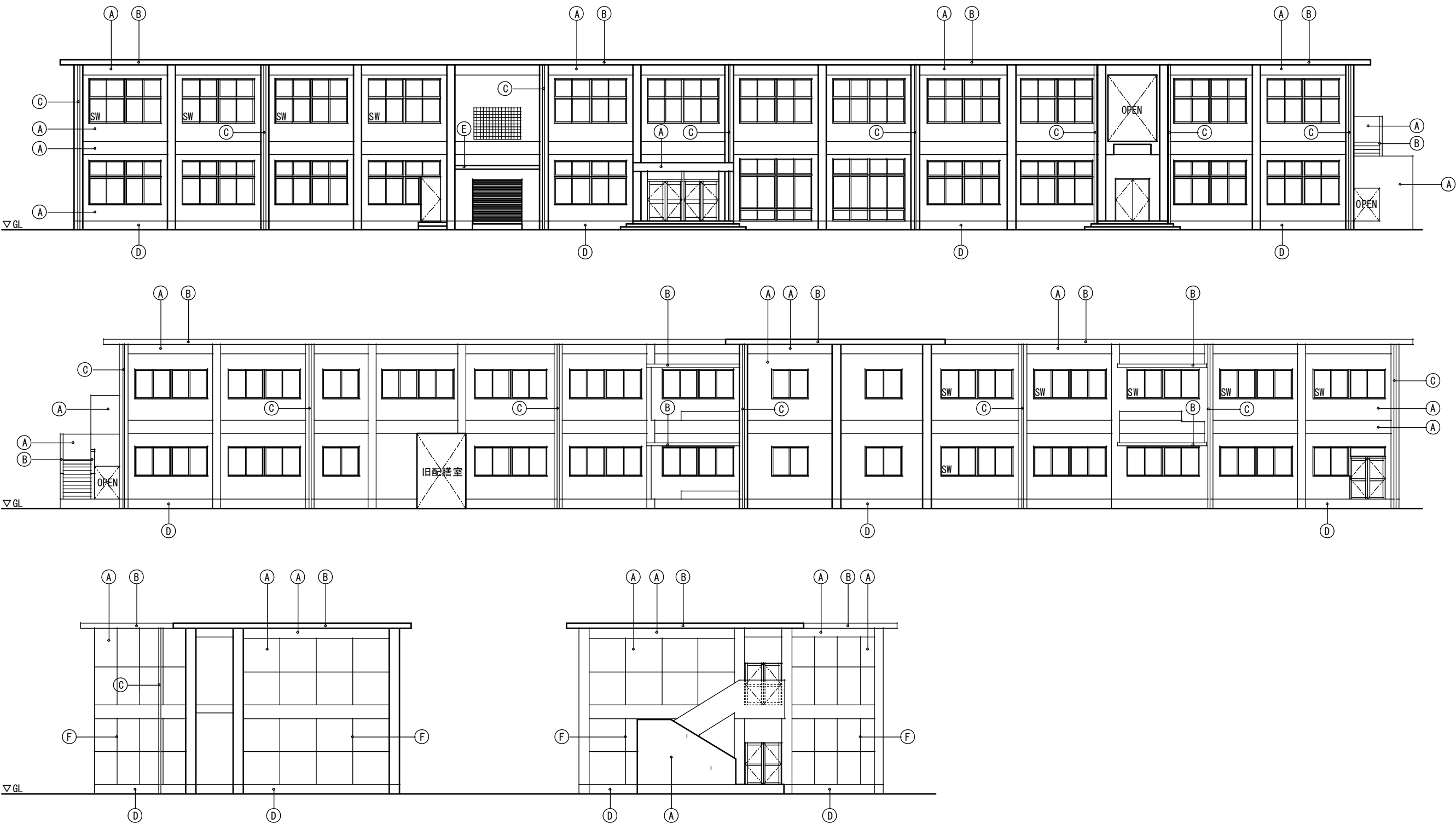
外 部 仕 上 表					
記号	仕 上		記号	仕 上	
A	改修前	小庇軒裏：コンクリート打放しの上、ｱｸﾘﾘｼﾝ吹付		改修前	
	改修後	高圧洗浄後下地調整の上、外装薄塗材 E		改修後	
B	改修前	梁型：モルタル刷毛引きの上、ｱｸﾘﾘｼﾝ吹付		改修前	
	改修後	高圧洗浄後下地調整の上、防水形外装薄塗材 E		改修後	
C	改修前	手摺上げ裏：コンクリート打放しの上、ｱｸﾘﾘｼﾝ吹付		改修前	
	改修後	高圧洗浄後下地調整の上、外装薄塗材 E		改修後	
D	改修前			改修前	
	改修後			改修後	
E	改修前			改修前	
	改修後			改修後	
	改修前			改修前	
	改修後			改修後	
	改修前			改修前	
	改修後			改修後	
	改修前			改修前	
	改修後			改修後	



2階平面図

特 記	作 図	作 図	工 事 名 称 ・ 図 面 名 称	縮 尺	図 面 番 号
			延永小学校北棟外壁改修工事	A3版：1/200	A09
			2階天井伏図		

外 部 仕 上 表											
記号	仕 上		記号	仕 上		記号	仕 上		記号	仕 上	
A	改修前	モルタル刷毛引きの上、アクリルリシン吹付	D	改修前	コンクリート打放しの上、モルタル金ゴテ仕上	A	改修前		A	改修前	
	改修後	高圧洗浄後下地調整の上、防水形外装薄塗材 E		改修後	既存のまま		改修後			改修後	
B	改修前	防水モルタル金ゴテ仕上	E	改修前	塗膜防水（X-2）	B	改修前		B	改修前	
	改修後	高圧洗浄後下地調整の上、防水形外装薄塗材 E		改修後	既存のまま		改修後			改修後	
C	改修前	縦樋：VP φ 100 撤去	F	改修前	クラック誘発目地：シーリング* 撤去	C	改修前		C	改修前	
	改修後	縦樋：VP φ 100 新設		改修後	クラック誘発目地：シーリング* 打替（MS-2）		改修後			改修後	



特 記	作 図	作 図	行橋市役所	工事名称・図面名称	縮 尺	図面番号
			都市整備部 建築政策課	延永小学校北棟外壁改修工事	A3版：1/200	A10
			福岡県行橋市中央一丁目1番1号 TEL：0930-25-1111	立面図		

